Biz Box ルータ 「RTX1210」

ファームウェアバージョンアップ手順書

1.1 外部メモリを使用してGUI画面でファームウェアを更新する

市販の外部メモリ(USB メモリ/microSD カード)に保存したファームウェアをルーターに読み込ませてファームウェアの更新を 行います。

ご注意

・FAT またはFAT32 形式でフォーマットされていない外部メモリは、ルーターで使用できません。

・USB ハブを介して、複数のUSB メモリなどの外部メモリをルーターに接続することはできません。

・USB 延長ケーブルは種類によっては動作しないことがあります。USB メモリはルーターのUSB ポートに直接挿入してご使用ください。

・ルーターのUSB ランプまたはmicroSD ランプが点灯/ 点滅している間は、外部メモリを取り外さないでください。外部メモリ内のデータを破損することがあります。USB ボタンまたはmicroSD ボタンを2 秒以上押し続けるとブザーが鳴り、USB ランプまたはmicroSD ランプが消灯し、外部メモリを取り外すことができるようになります。外部メモリを取り外す際は、USB ランプまたはmicroSD ランプが消灯していることを確認してから外部メモリを取り外してください。

1. ファームウェアを保存した外部メモリを用意する。

- 外部メモリをルーターのUSB ポートまたはmicroSD ポートに差し込む。
 外部メモリを認識するとブザーが鳴り、ルーターのUSB ランプまたはmicroSD ランプが点灯します。
- 「管理」タブ –「保守」–「ファームウェアの更新」を順に選択する。
 「ファームウェアの更新」画面が表示されます。
- 4. 「外部メモリからファームウェアを更新」項目の「進む」ボタンをクリックする。

③YAMAHA RTX 1210 単理ユーザー・ユーザー3	ない ログアウト
■ ダッシュポード 長 UNIマップ 月 かんたんほど 🏟 (#088)注 🔦 番 理 CONFIG T	ECHINFO ヘルプ
4	
*体の設定 - ファーノ ウー アクテド	
アクセス管理	
現在の設定内容を表示しています。	
コマンドの実行 現在のファームウェアリビジョン	
ファームウェアの更新 - Rev.14.01.04	
CONFIGファイルの管理	
SYBLOGの営具 ・ 外部メモリからファームウェアを更新	
再起動と初期化 外部メモリから更新するファームウェアファイルを選択します	302
ネットワーク経由でファームウェアを更新	
ネットワーク短田でファームウェアファイルを確認後に更新します	14.D
ダウンロード先のURL	
ヤマハのWebサイト	
リビジョンダウンの屛可 ダウンロードボタン タイムアウト	1978
許可しない 使用しない 30秒	

「外部メモリからファームウェアを更新」画面が表示されます。

5. 外部メモリから読み込みたいファームウェアを指定する。

®YAMAHA RTJ	K 1210		御理ユーザー ユーザー名なし ログアウト
画 ダッシュポード 吉, U	NROJ A DATABE Ø	1201192注 🥄 簧 理	CONFIG TECHINFO ∼JL⊅
44	ファームウェアの更新 > 外部メモリからつ	マームウェアを更新	
本体の設定	ファームウェアの	百姓	
アクセス管理	外部メモリからファ	ームウェアを更新	
保守 *	名項目を1カレアください 1	カが完了」たら 「藤原」ボタンを細してください	
コマンドの実行	 ・ ・ ・	Sand and the states and the second states of the se	
CONFIGファイルの管理	使用中のファームウェアファイル	内震不得杀性火モリ exced	
SYSLOGの管理	1 夏新ファイルの指定	SDメモリ マ Inkt210.bn の用	1
再起動と初期化	2 ##+77-0.0-770##		4
			,
			展る「確認」
Ar of	1-0.05		

① 更新ファイルの指定:

差し込んだ外部メモリを選択し、「参照」ボタンをクリックします。「ファイルの一覧」画面で保存したファームウェアを選択します。

② 更新先ファームウェアの指定:

更新先の内蔵不揮発性メモリのファームウェア番号を選択します。

メモ

更新先ファームウェアの指定が使用中のファームウェアと同じ場合は、ファームウェアの更新の完了後にルーターが再起動します。 また、指定が異なる場合は、再起動は行われず使用中のファームウェアも変化しません。

6. 「確認」ボタンをクリックする。

「入力内容の確認」画面が表示されます。

7. 内容を確認し、「実行」ボタンをクリックする。

®YAMAHA RTX1210				管理ユーザー:ユーザー名なし ログアウト
(Ⅲ ダッシュポード) 長 レイNマップ)	🎢 かんたんほを 🔯 詳細語	± مُر ¥ #		CONFIG TECHINFO ヘルプ
ee 77-60:	この意動 > 外部メモリからファームの	ウェアを更新 > 入力内容の確認		
本体の設定	マームウェアの声频			
アクセス管理 スカ	内容の確認			
保守 • -		the state of the state		
コマンドの実行	に確認の上、ようしければ1美	打」包押してくたるい。		
	「実行」を押すと、ファームウェア	更新任に自動的に再踏動します。		
SYSLOGの管理 外部	メモリからファームウェフ	7を更新		
再起動と初期化	中のファームウェアファイル	内蔵不堪形性メモリ aver0		
606		Page 13896 (Exc) Exc C		
更新	ファイルの指定	SDメモリ /rbd210.bin		
更新	先ファームウェアの搭定	内蔵不揮発性メモリ exacO		
			(戻る (実行)
	Copyright © 20	114 Yamaha Corporation, All Rights I	Reserved.	

「ファームウェアの更新」ダイアログが表示され、ファームウェアの更新が開始されます。ファームウェアの更新が完了すると、 ルーターは自動的に再起動します。

ご注意

使用中のファームウェアと更新先ファームウェアの指定が異なる場合は、再起動は行われず、使用中のファームウェアも変化しま せん。手順8 以降は、使用中のファームウェアと更新先ファームウェアの指定が同じ場合に行ってください。

8. ルーターの再起動中に、外部メモリを取り外す。

ご注意

ルーターのLED が全点灯している間に外部メモリを取り外してください。その際にUSB ボタン/microSD ボタンを押す必要はあ りません。外部メモリを取り外さなかった場合、外部メモリ内にファームウェアまたは CONFIG ファイルが存在すると、その外部 メモリ内のファイルを使用して起動します。

9. ルーターの再起動が完了後、「トップへ戻る」ボタンをクリックする。

ファームウェアの更新
ファームウェアの更新が完了しました。 本製品を再起動します。 LEDの点域検了後、下のボタンを押してください。
トップへ戻る
* *

ダッシュボードページが表示されます。

ご注意

再起動中はWeb GUI を開いているパソコンがルーターと通信できない状態(パソコンのネットワークアダプタの状態表示で「ネットワークケーブルが接続されていない」と表示されます)になりますが、再起動が完了すると通信状態が復旧します。ルーターの LED の点滅終了後に、Web GUI を開いているパソコンの通信状態が復旧していることを確認してから「トップへ戻る」をクリックしてください。

9.2 DOWNLOAD ボタンを用いたリビジョンアップ

本製品がネットワークに接続されている場合、DOWNLOAD ボタンを押すことで、Web サーバーにあるファームウェアへ自動的 にリビジョンアップすることができます。(http リビジョンアップ)

この機能を有効にするには、operation http revision-up permit コマンドを使用します。ファームウェアをダウンロードするWeb サーバーを指定するには、http revision-up url コマンドを使用します。工場出荷時は、ヤマハのWeb サーバーからファームウェ アをダウンロードするように設定されています。

DOWNLOAD ボタンを3 秒以上押すと、新しいリビジョンのファームウェアの有無をチェックします。新しいリビジョンのファ ームウェアがあった場合は、自動的にファームウェアをダウンロードし、リビジョンアップを実行します。 リビジョンアップが成功すると、本製品は再起動します。

ご注意

本製品が再起動するまでの間は、絶対に本製品の電源を切らないでください。

メモ

http revision-down permit コマンドで、古いリビジョンのファームウェアへの書き換えを許可することもできます。

9.3 TFTPを用いたリビジョンアップ

TFTP を用いてリビジョンアップする場合は、本製品はTFTP サーバーとして動作し、パソコンはTFTP クライアントとして動作し ます。Windows の場合はコマンドプロンプトから、Mac OS X の場合は「ターミナル」アプリケーションから、 tftpコマンドが 実行できます。

TFTP の実行形式はそれぞれのOS に依存します。以下の点に注意して実行してください。

・転送モードはバイナリにします。(binary やbin と表現される)

·本製品側のファイル名は「exec」です。

・送信元のファイル名は「rtx1210.bin」です。



メモ

・Windows Vista 以降のWindows では、初期状態でTFTP が使用できないようになっています。TFTP を使用するには、Windows の[コントロールパネル]から [Windows の機能の有効化または無効化] 画面を表示し、TFTP クライアントを有効化します。 ・ファームウェアをリビジョンアップしても、本製品の設定内容は変更されません。 TFTP を使用してリビジョンアップする

ここでは、Windows パソコンからTFTP を使用して本製品のファームウェアをリビジョンアップする方法を説明します。 Windows パソコン以外を使用する場合は、Windows パソコン側の操作を適宜お使いの環境に置き換えてください。

- 1. 本製品(TFTP サーバー)に、ファームウェアを転送するパソコン(TFTP クライアント)のIP アドレスを設定します。
- 本製品のコンソールで、以下のように入力します。

- ここでは、パソコンのIP アドレスを「192.168.100.10」として設定します。

tftp host 192.168.100.10

2. プログラムの変更中の不安定な状態を避けるために、PP 側の通信を中止します。

- 本製品のコンソールで、以下のように入力します。

pp disable all

ご注意

この例では、save コマンドを実行していないため、本製品を再起動した後でも、PP 側の通信を切断した状態(pp disable all コマンドを実行した状態)にはなりません。

3. Windows のコマンドプロンプトを起動して、以下のように入力します。

C:¥>tftp -i 192.168.100.1 PUT rtx1210.bin exec Transfer successful: xxxx bytes in x second, xxxx bytes/s C:¥

本製品に転送したファームウェアを不揮発性メモリに書き込んでいる間、microSD、USB、DOWNLOAD のランプが交互に点灯し ます。不揮発性メモリへのファームウェアの書き込みが完了すると、自動的に本製品が再起動します。外部メモリ内のファームウ ェアで動作している場合には、外部メモリ内のファームウェアが更新されます。

メモ

不揮発性メモリに書き込む時間が長いため、TFTP クライアントがタイムアウトする場合がありますが、正常にリビジョンアップで きます。本製品では、tftp コマンドの引数として、exec の代わりにexec0 またはexec1 を指定できます。またtftp コマンドの オプションとして、no-reboot(本製品を再起動しない)、reboot(本製品を再起動する)が指定できます。

ご注意

本製品が再起動するまでの間は、絶対に本製品の電源を切らないでください。

本製品のコンソールで、show environment コマンドを使用して、ファームウェアが正しくリビジョンアップされたことを確認します。

以上